

【議会報告会】

○昨年の 2 月定例月議会において議会が可決した予算とは異なる趣旨の請願を今定例月議会において採択したが、議会として一旦決定したことを、地域から要望を受けてその方向性を変えることに疑問を感じる。市民の負託を受けた議会が簡単に方針転換してもよいのか、議会制民主主義のあり方に疑問を感じるがどうか。

⇒議員 請願は市民に認められた権利であり、今回、所定の手続きを経て議会に提出された請願について議論を行った。請願については、十分な審査の上、採択、不採択を判断しており、提出された請願に対する答えを出すことも議会の一つの使命であり、その結果として、採択した請願内容が当初の計画と異なるのではないかと疑問に感じることがあるかもしれない。なお、今回の請願者としては複数名であった。

⇒議員 今回の請願については、議会の中でも賛否が分かれる結果となった。そのため、議会全体が採択の意向を持ったものではないが、それぞれの議員の立場での判断の結果、出席議員の過半数を超える賛同があったため、採択という結論に至ったものである。また、大矢知地区の学校問題については、10年来の懸案であり、過去にも中学校建設にかかる事業費を否決し、途中で方向性を転換したこともあるため、予算を認めたからといって事業が必ずしも完遂できるとは限らない。また、今回請願を採択したが、予算の否決・修正が決まったわけではないため、現在の改築案を直ちに中止するというのではなく、次の 2 月定例月議会における市長からの予算提案等を見て、議会において改めて審議し判断を行い、その方向性を定めていくことになる。

○市民から情報提供があった場合は、市職員はすぐに現地確認を行うようにすべきであり、その際は、地球温暖化防止のためにも、公用車を使わないことを提案したい。

⇒議員 ご意見として承る。

【シティ・ミーティング】

〈テーマ：教育民生常任委員会の所管事項全般について〉

**グループ A において出された主な意見**

- 要介護認定度が上がれば上がるほど、家族の負担も増えるが、そのような中、家族が自宅で介護を行っている人も多くいるため、例えば在宅で介護を行っている家庭へのインセンティブ制度の創設等の支援策について検討してはどうか。
- 公立幼稚園の3歳児保育を実施していないのは県内で本市だけであり、市長のタウンミーティングでも提案したが、公立幼稚園の3歳児保育の実施に向けて検討してほしい。以前に議会でも議論したと聞いているが、今後の子供のたちのために、再度検討してほしい。こども園が悪いわけではないが、それによって公立幼稚園がなくなっていくことにならないよう、そして、保護者がこども園が良いと思えるような園づくりのあり方についても考えてほしい。
- 今後、幼児教育・保育の無償化に伴い、保育のニーズがさらに高まると思われるため、待機児童問題はさらに大きくなるのではないか。本市は、公立幼稚園の3歳児保育を実施していないため、楠地区から他地区の私立幼稚園に通園している子供もいる。本来、地域の子供たちは地域の中で子育てをしたいという思いを持つ保護者もあり、それが現状できていないため、公立幼稚園の3歳児保育の実施について検討してほしい。
- 学校の管理にかかる予算は各学校にどのように配分しているのか。小規模校のよさもあるが、小規模になればなるほど、保護者、教職員の数は少なくなり、さらに、地域住民の人数自体も少ないケースが多いため、学校の管理運営における教職員、保護者、地域の負担が大きいことから、改善に向けて努めてほしい。
- 自治会だけでなく、周辺企業にも小中学校の除草を手伝ってもらっており、協力してもらった方に対し、湯茶や燃料費程度は手当てできるようにできないのか。
- 博物館の特別展において美術品の展示を行っているが、それは美術館が担う役割であり、博物館らしい展示をしてほしい。例えば、本市は「市」のまちであるため、日本や世界の「市」に関する展示をしてはどうか。
- 鈴鹿市では公立小中学校の普通教室への空調設備設置率が100%であるのに対し、本市は8%であると聞く。子供の命を守るためにも、議会の力で一刻も早く利用できるようにしてほしい。特に、塩浜地区は公害という歴史的な経緯もあり、空調整備の必要性が高い地区であると考えており、地域の意向も踏まえてぜひ早期の設置をお願いしたい。
- 自分の勤める企業では、職場の戦力として障害者に活躍してもらっているが、家族の送迎がないと通勤できないため、家族の都合により仕事を休まざるを得ないケースもある。そのため、行政による何らかのバックアップができるようにしてほしい。

- 要介護認定の訪問調査の際の本人への聞き取り調査が粗雑であると感じるため、改善してほしい。
- 要介護認定について、身体的な要因だけでなく、認知症に対しても適正な判断をしてほしい。
- 本市の市税収入は好調であるが、基金への積み立てだけでなく、福祉目的に活用すべきである。
- 小中学校への空調整備、小中学校の増改築、コミュニティバス事業等に積極的に市税を活用して、本市が先端を走るような施策を講じていかなければ、自治体間競争に取り残されるのではないか。
- 市民が安心して生活できるよう、市内全域への防犯カメラの設置を進めてほしい。
- 地区の人口減少に伴い、空き家が増加傾向にあり、建物や庭木の管理について、自治会に対して、住民から苦情の声を受けるが、自治会としては対応できないため、条例等により対策を講じてほしい。
- 楠地区は公共交通が不便な地域であり、高齢者にとっては買い物や病院への移動に苦労している。公共交通の問題は市民生活に直結する大きな問題である。
- 塩浜地区内の公有地の遊休土地を渋滞緩和や交通安全対策のために活用したり、サイクリングロードとして整備してはどうか。
- 全国からコンビナート夜景の見学に来るが、ごみのポイ捨て、トイレが少ない、駐車場がないといった課題があり、地域としても苦慮している。
- 磯津には測候所があり、見学者が来ることもあるため、周辺土地の除草等により、適切な環境整備に努めたいが、国・県・市の土地に分かれており、一気に除草してもらえないため、一度に除草できるようにしてほしい。

#### **グループBにおいて出された主な意見**

- 塩浜中学校は、学校規模等適正化計画においてE判定であり、将来的に廃校になるのではないかと危惧する。
- 小中学校は地域コミュニティの核となる場所であり、また、災害時の拠点施設でもあるため、地域から学校がなくなることは避けたい。少子高齢化が進む中、塩浜地区としても、人口を増加させるために取り組んでいきたい。
- 学校の配置や状況が変わることによって、保護者や家庭の生活サイクルが変わるという

ことも認識し、長期スパンでの展望をしっかりと持ってほしい。例えば、学校選択制といった制度の導入も考えてはどうか。

- 小中学校の普通教室への空調整備について、2020年からの供用開始予定であるが、昨年の猛暑を鑑みると、もっとスピード感を持つべきである。そして、子供たちの命を守るために来夏の暑さをどのように乗り切るか考えることも重要である。
- 大府市において、電車事故に遭った認知症の高齢者の遺族に、鉄道会社が損害賠償を請求した事案があったが、塩浜地区においても、鉄道、交通量の多い道路、河川等、危険箇所が数多く存在する。そのため、他の自治体の先進的な事例を参考にしながら、地域でしっかりと見守る体制を構築していくこと、また、万が一、事故が起きても遺族への負担がないような制度の構築も必要ではないか。
- 現在、本市では認知症高齢者等SOSメールを配信しているが、家庭内に認知症の家族がいることを近隣の人に言いづらいということもあるため、認知症の家族がいるということを言えるような環境づくりも重要であると考えます。
- 認知症高齢者グループホームの存在を知らない人もおり、周知が不足しているのではないかと感じる。他の事業も同様であるが、本市は事業を実施しているが、市民への広報が不十分であると感ずる。
- 3カ月前に聞いた話だが、磯津保育園のフェンスの修理を要望しているがなかなか修繕してもらえず、不審者対策・防犯対策として職員が網を張っていると聞いた。フェンスの耐用年数は把握しているはずであり、適切な予算措置を行い、定期的に交換できるように計画的に整備してほしい。
- 市は、地域の課題について「検討する」、「重く受け止める」と言って持ち帰っても、対応してもらえないことが多いと感ずるため、きちんと対応するようにしてほしい。
- 一般質問の際に理事者側から、「検討する」という答弁がなされることがあるが、その後の追求を行ってほしい。以前に質問のあった、災害時における自主防災隊員や組長に対する補償について、追求を行ってほしい。
- 塩浜街道の歩道が整備されたため、見通しがよくなった。車道と歩道が分離されていない地区に比べれば、恵まれていると感ずている。
- 塩浜街道の植え込みが撤去されて見通しが良くなったが、他地区では植え込みによって視認性が悪い箇所が多いため、せめて公共施設の出入口は見通しがよくなるように整備してほしい。

- 競輪場駐車場と小倉橋付近で生活している路上生活者について、何らかの対応をすべきではないのか。
- 大矢知地区の学校問題もそうであるが、計画を発表する前に地域の声を吸い上げるべきではないのか。早めに地域への情報提供を行い、地域住民がしっかり考えられるような手立てをとってほしい。
- 人によっては話を聞いてくれない市職員がいる。大矢知地区の学校問題もしかりであるが、市民の話をきちんと聞けば、円滑に進むこともあると思う。